

千葉県教育委員会会議議事録

令和元年度第3回会議（定例会）

1 期 日 令和元年6月26日（水） 開会 午前10時30分
閉会 午前11時05分

2 教育長及び出席委員

教育長 澤川 和宏
委員 佐藤 眞理
井出 元
岡本 毅

3 出席職員

教 育 次 長 吉野美砂子

企画管理部

企 画 管 理 部 長 山口 新二
企 画 管 理 部 次 長 吉野 光好
教 育 総 務 課 長 藤谷 誠
企画管理部副参事兼教育総務課
人事給与室長 富岡 健治
教 育 政 策 課 長 岩崎 雅夫
企画管理部副参事兼
教育政策課高校改革推進室長 酒匂 一揮
財 務 課 長 榊田 善啓
教 育 施 設 課 長 西原 正男
福 利 課 長 梅島 好美

教育振興部

教 育 振 興 部 長 大野 英彦
学 校 危 機 管 理 監 中村 敏行
教 育 振 興 部 次 長 風間 慎吾
生 涯 学 習 課 長 古泉 弘志
学 習 指 導 課 長 内田 淳一
児 童 生 徒 課 長 中西 健
特 別 支 援 教 育 課 長 酒井 昌史
教 職 員 課 長 浅尾 智康
教 育 振 興 部 副 参 事 吉本 明広
学 校 安 全 保 健 課 長 日根野達也
文 化 財 課 長 大森けい子
体 育 課 長 加藤 俊文
教育振興部副参事兼体育課ちば
アクアラインマラソン準備室長 赤池 正好

企画管理部
教育政策課主幹兼教育広報室長 榎原 正策

教育振興部
生涯学習課主幹兼社会教育振興室長 田中 憲生
同 新県立図書館建設準備班長 奈良伸一郎
同 主査 大森 明香
教職員課主幹兼管理室長 細川 義浩
同 管理主事 池田 淳一
同 管理主事 南 暁男
同 主幹兼任用室長 鈴木 克之
同 管理主事 村田 歩

事務局
企画管理部教育総務課副課長 青柳 誠
同 主幹兼委員会室長 神子 純一
同 主幹兼文書・情報室長 大野 光紀
同 委員会室副主幹 初芝 亨
同 主査 今井 清人
同 副主査 稲田 敏志

4 教育長開会宣告

5 署名人の指名 佐藤 眞理 教育長職務代理者

6 令和元年度第2回教育委員会会議（定例会）議事録の承認

7 議題の宣告及び非公開の決定

本日の案件は、第16号議案の議案1件、報告1から報告2の報告2件である。

第16号議案は、教育委員会会議規則第13条第1項第一号「任免、賞罰、人事」に該当することから、非公開により審議する。

8 審議事項

報告1 新千葉県立図書館等複合施設基本計画（原案）について

【生涯学習課長】

報告資料1 ページ「新千葉県立図書館等複合施設基本計画(原案)の概要」を御覧いただきたい。まず、左側のブロックであるが、「基本計画の目的」から「新たな知の拠点の在り方」までを整理している。この計画は、平成30年1月に策定した「千葉県立図書館基本構想」を具体化するために策定を進めているもので、結論として、新しい施設は、県文書館と県立図書館を複合化し、新たな「知の拠点」として整備することとしている。次に、真ん中のブロックであるが、基本理念と基本方針、サービス方針等を整理している。基本理念としては「文化情報資源の集積と活用を通じて、知の創造と循環を生み出し、光り輝く千葉県の実現に貢献する」ということを掲げた。最後に、真ん中のブロック下方から右側のブロックにかけて、「新たな知の拠点づくりに向けた基盤整備」として組織体制、取り扱うコンテンツ、システム構築、施設・設備について整理している。立地は、県立中央博物館等との連携も可能な場所として県立青葉の森公園内、公園内でも公共道路への接道等にすぐれた「はらっぱ」付近としている。施設規模は、延床面積1万7千平方メートル程度、建物は、御覧の概要には記載していないが、地上2階地下1階を想定している。開架冊数とは来館者の方が直接、手に取ることのできる棚にある図書の冊数であるが、約15万冊としている。この計画は今年11日に報道発表を行い、翌12日から公表してパブリックコメントを実施して県民や市町村等の意見を募っているところである。意見を受けて再度検討した案を7月の教育委員会会議で御審議いただく予定である。なお、文書館と図書館の複合施設であることから、この計画は県と教育委員会の連名になる。7月の教育委員会会議での審議、可決後、知事と協議を行い、同意を得て、策定の運びとなる。

【岡本委員】

開架冊数15万冊は他県に比べて多いのか少ないのか。また、最近は様々な図書館があるが、新図書館の目玉は何か。

【生涯学習課長】

開架冊数をもっと多い県もあるが、千葉県は都市部で、市町村立図書館もある程度、発達していることから、15万冊程度が適正と考えている。目玉は知の拠点として整備することであり、中央博物館等との連携によりシンボルエリアを形成していきたい。

【岡本委員】

あとは、自動化書庫等のハード面である。

【佐藤教育長職務代理者】

基本計画（原案）は色々な項目が書き込まれ、よく目配りされていると思うが、一方で、総花的に充実されるのは大変なことで、既存事業と新規事業のバランスが難しいのではないかと。

【生涯学習課長】

文書館との融合を活かし、資料の収集、保存、展示等の充実、千葉県の多様な資料情報を一括して検索できる仕組みづくり、県民が必要な資料を入手するまでの時間の短縮などに努めていきたい。

【佐藤教育長職務代理者】

千葉県には図書館がまだ充実していない市町村もある。市町村との連携には期待したい。

【井出委員】

「知の拠点を演出する専門家集団の編成」や「博物館等関係機関との連携」は非常に大切である。これを充実させると良い知の拠点になる。特に大学図書館、中でも私立大学は学部ごと

によく文献を収集し、個性的なコレクションを持っているので、是非連携してもらいたい。

【澤川教育長】

場所を青葉の森とし、移転することも目玉の一つかと思うが、青葉の森とした理由を説明してほしい。

【生涯学習課長】

文化情報資源を扱う他の機関及び県庁から近隣にあること等、4つの条件を満たす3つの候補地について、さらに詳細な評価項目を設けて比較した結果、青葉の森が最適との結論に達した。

【澤川教育長】

久しぶりの大きな施設整備である。80年使用すると次の世紀になる。委員から指摘のあった自動化書庫も目玉であり、全国でもトップクラスの図書館連携にも注力してもらいたい。学びのあり方が変化している時代において、千葉の学びをリードする施設となることを期待する。

報告1は終了。

報告2 令和2年度公立学校教員採用候補者選考志願状況について

【教育振興部副参事】

報告資料の一番後ろにある2ページを御覧いただきたい。志願状況だが、募集人員の合計約1,660人に対し、志願者数の合計は6,031人となり、志願倍率は約3.6倍となる。志願者数の内訳だが、小学校は1,985人で志願倍率は2.8倍、中学校と中・高共通枠は3,059人で志願倍率は4.2倍、特別支援教育は479人で志願倍率は2.8倍、養護教諭は344人で志願倍率は8.2倍となった。今年度、小学校で152人、中学校と中高共通枠では407人の減少となり、志願者総数で564人の減少となった。県外3会場については、盛岡が186人、秋田が64人、金沢が68人の志願があったが、県外会場の合計は36人減少した。中でも、小学校や中高国語・英語などの志願者の減少が大きいことから、今後、県教育委員会では、働き方改革を一層推進するとともに、教員のやりがいや魅力について、広く情報発信することで、人間性豊かな人材の確保に努めていく。志願者の大幅な減少については、優秀な人材確保の観点から、大きな課題と捉え、現在、その原因について分析を進めているところである。今後の日程だが、第1次選考は7月14日(日)、第2次選考は8月下旬に行い、最終合格発表は10月中旬を予定している。なお、このことについて、今月6日に報道発表をしたところである。

【井出委員】

志願者が減少していることについて分析を進めていると思うが、現時点では、どのように把握しているのか。

【教育振興部副参事】

様々な要因が考えられ、一つに特定することは困難だが、民間企業等への採用が活発になっていることや教員の長時間勤務が常態化していることなどが要因と考えている。

【澤川教育長】

小学校が倍率3倍を切ったのはいつ以来か。また、周辺自治体の様子はどうか。

【教育振興部副参事】

平成20年度(平成19年度実施)以来である。周辺自治体も1割程度志願者数が減少している。

【澤川教育長】

10年程度のスパンで見た際どうなのか。

【教育振興部副参事】

平成17年度（平成16年度実施）が2.8倍、平成18年度（平成17年度実施）が2.7倍、平成19年度（平成18年度実施）が2.9倍、平成20年度（平成19年度実施）が2.9倍と続き、それ以降は3倍を超えていた。

【岡本委員】

養護教諭の倍率は8.2倍と高いが、例年のことなのか。

【教育振興部副参事】

例年高い傾向にある。志願倍率は、平成29年度（平成28年度実施）が8.6倍、平成30年度（平成29年度実施）が8.6倍、平成31年度（平成30年度実施）が7.9倍、今年度が8.2倍である。

報告2は終了。

委員報告 さわやかちば県民プラザの視察について

【井出委員】

6月19日にさわやかちば県民プラザを視察した。4月の委員勉強会で県民プラザの運営について説明を受け、今までは利用者としての認識しかなかったので、今回改めて現状を見ることにより県民プラザの重要性や現場の抱える課題を知ることができた。施設を見て感じたことは、ハード面が非常に立派なことである。細かい内部に基づいた設計で作られ、特に大ホール、研修室、実習室、防音設備のある個室、各所に設けられた休憩室、さらに宿泊施設やレストラン等、周到的な設備がある。学校教育で行われている全ての教室が整っているという説明を聞き、この施設にかけた先人の教育にかける思いの高さを感じた。職員との懇談会では、当施設で実施している生涯教育の内容について説明があった。特に「ちばっ子学び塾」という企画が有意義なもので、学校では学ぶことができない学習を通して、生涯学習社会に生きる人材を育てている。また、当日は地域の文化祭が行われていた。いろいろな世代の方の作品が展示されており、生涯学習社会で活動する方にとって、発表の場があることは大変素晴らしいことであると感じた。このように、ハード面・ソフト面ともに豊かな内容を持つ県民プラザの事業をさらに活用していく、これが教育立県を支える大きな施設の役目であると感じた。今後は、生涯学習や社会人の学びの場として、ますます重要な拠点となる。さらに、知名度を上げ、大勢の方が利用できるような対策を考えていってほしい。

【澤川教育長】

全国に生涯学習センターはたくさんあるが、その中でもさわやかちば県民プラザは、規模的にも内容的にも充実した施設であると言える。

委員報告は終了。

<傍聴・報道 退出>

第16号議案 学校職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

9 教育長閉会宣告